

定昇は実施するが、「ベア・ゼロ」回答!! 断固抗議する! 貨物会社は再考せよ!

一部を除き基本給に200円の積み上げを行う!

3月13日、貨物会社は「2020年4月1日以降の賃金引上げに関する申し入れ」(国労闘争申第7号)に対する回答として「定期昇給は実施する。ベースアップについてはできない」なお、昇給表に記載している等級及び評価に応じた昇給を実施したのち初任給を除き基本給に一律200円を積み上げる。

昨年は100億円を超える減収となりながらも、「ベア200円」を実施し、一昨年続く2年連続のベア実施としてきたが、過去18年におよぶ「ベア・ゼロ」回答は、社員の苦しい生活を放置し続けてきたばかりでなく、社員のモチベーションまでも奪い、期末手当でもJR最低となる支給実績のもとでの最高益確保は、社員犠牲を繰り返すことで達成してきたものと指摘しなければならない。

今後、「中期経営計画2023」に基づき「鉄道事業の黒字化」「経常利益140億円以上の達成」を実現するため経営課題を盾に「賃金抑制を続けていく」という会社の姿勢であるとしか受け取ることができない!

「先行き不透明」「厳しさ」だけを強調した、今回の「ベア・ゼロ」回答は、社員の生活改善には程遠く、到底納得できるものでない! 貨物本社に対し抗議行動を集中しよう!

「ベア・ゼロ」では生活改善はできない! 経営陣は判断を改めるべきだ! 新人事制度での昇給は「旧制度の8割支給×基準額で6割支給!と実質賃金は減額の一途!



**闘争指示 号に基づき、
抗議行動の展開を!**

2013年度以降、貨物会社の経営は順調に推移し、2年連続の「鉄道事業部門の黒字」、経常利益は過去最高益を達成した。昨年度の100億円の減収に続き、今年度は台風の影響を受けながらも、収入ベースでは昨年度を上回り、過去最高に匹敵する事業計画を立てている今日、これだけ利益を上げることができたのは社員の努力によるものであり、その還元はまだ行われていない! 経営陣は、今こそ社員の努力・家族の支えにこたえるべき責任がある!

**1,229筆の署名の重みを考慮すれば、
ただちに再考を行うべきだ!
これまでの利益の積み上げは
社員の努力によるものであり
今こそ社員の生活改善を図るべきである!**



**「ベア・ゼロ」は社員の生活を破壊するもの!
全職場から抗議行動を展開しよう!**